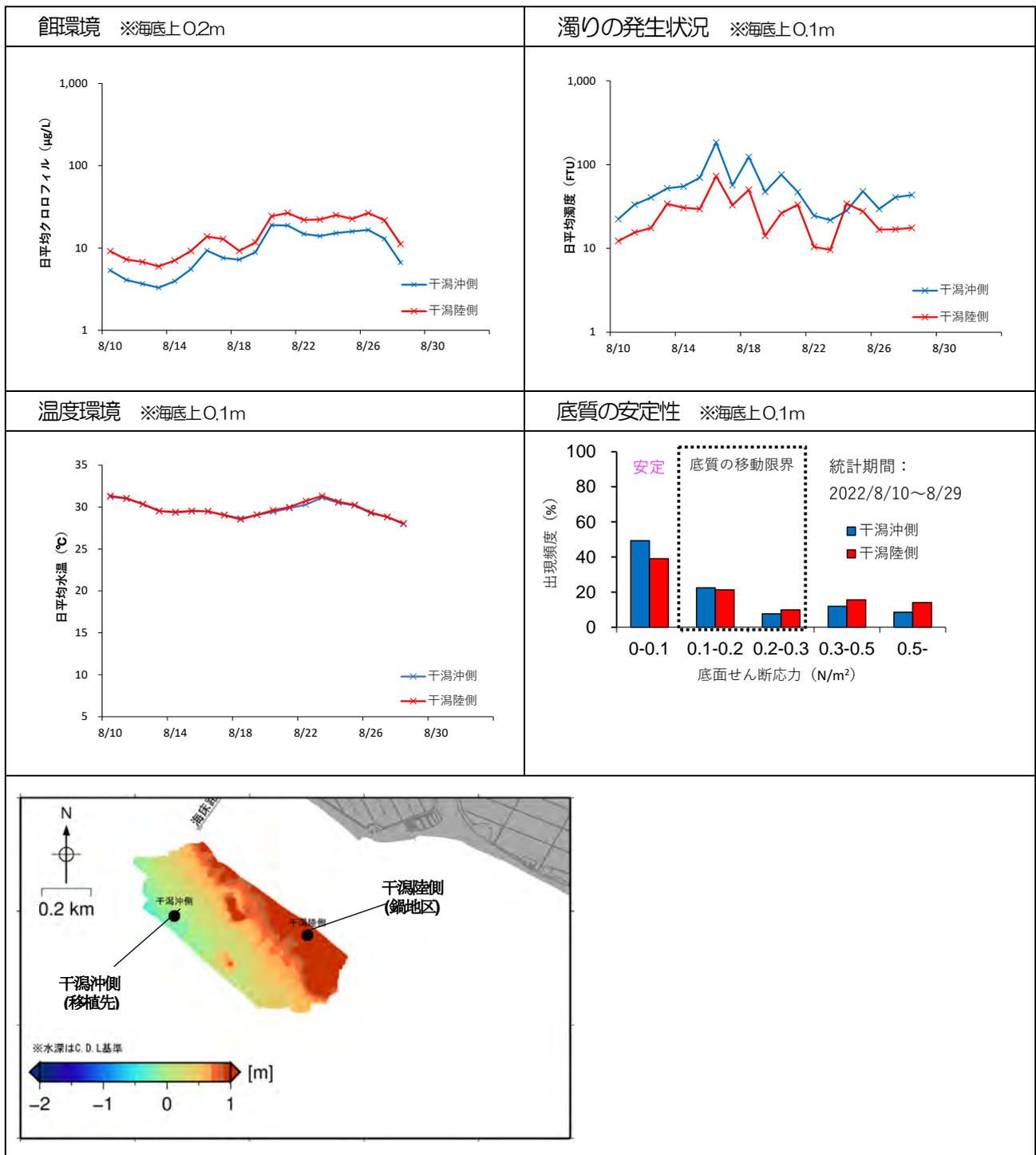


※1 全地点が干出していない時間帯のみについて集計

※2 底質の移動限界は各地点の底質粒径や密度に応じて変化するため、図中では幅を持たせて表現している。

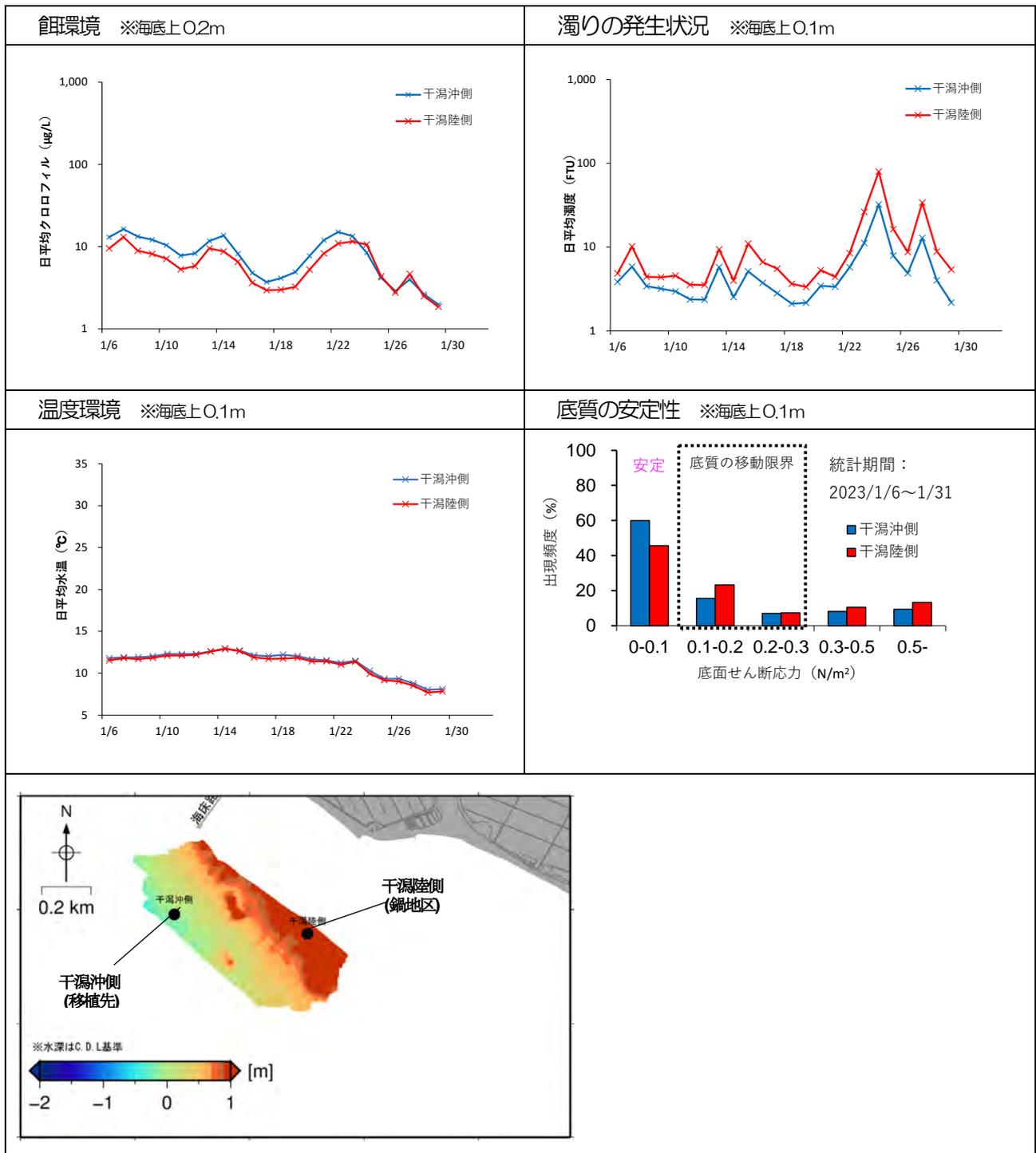
図 15 各地点（干潟陸側及び干潟沖側）におけるアサリの生息環境の比較（6月調査）



※1 全地点が干出していない時間帯のみについて集計

※2 底質の移動限界は各地点の底質粒径や密度に応じて変化するため、図中では幅を持たせて表現している。

図 16 各地点 (干潟陸側及び干潟沖側) におけるアサリの生息環境の比較 (8月調査)



※1 全地点が干出していない時間帯のみについて集計

※2 底質の移動限界は各地点の底質粒径や密度に応じて変化するため、図中では幅を持たせて表現している。

図 17 各地点 (干潟陸側及び干潟沖側) におけるアサリの生息環境の比較 (1月調査)

2.3 底質調査・生物調査

2.3.1 底質調査

底質の調査結果を図 18 及び図 9 に示す。干潟陸側及び干潟沖側においてアサリの好適範囲外であるシルト・粘土分 20%以上の値は確認されなかった。

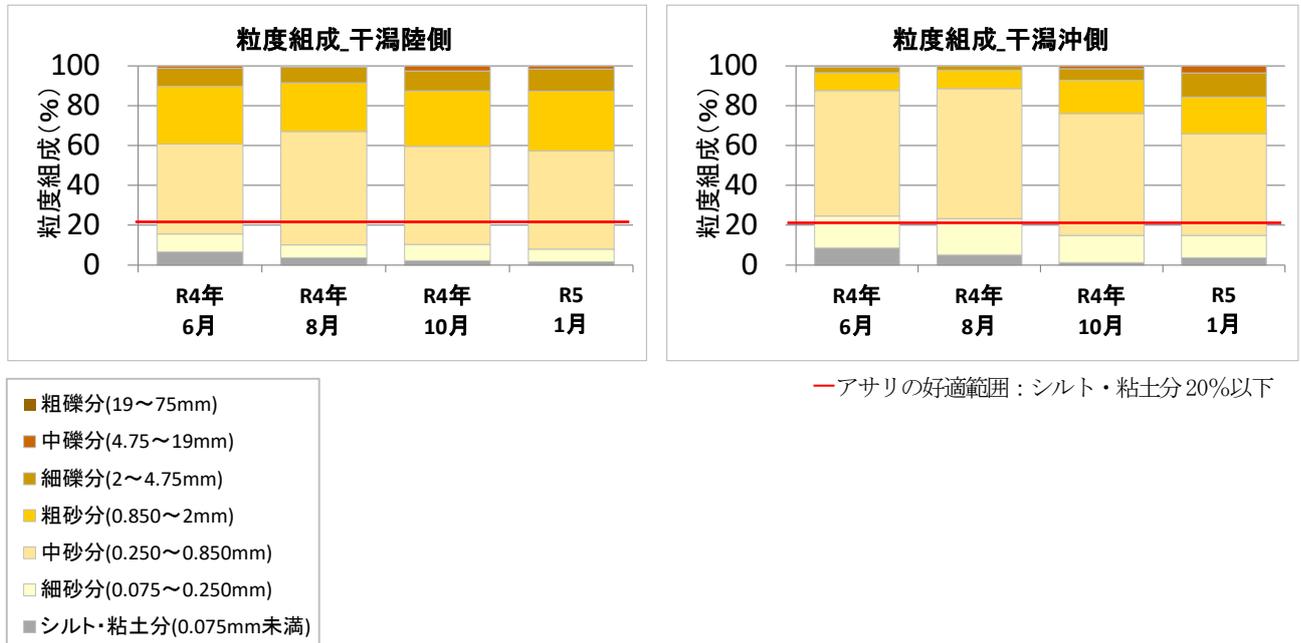


図 18 底質調査結果 (粒度組成)

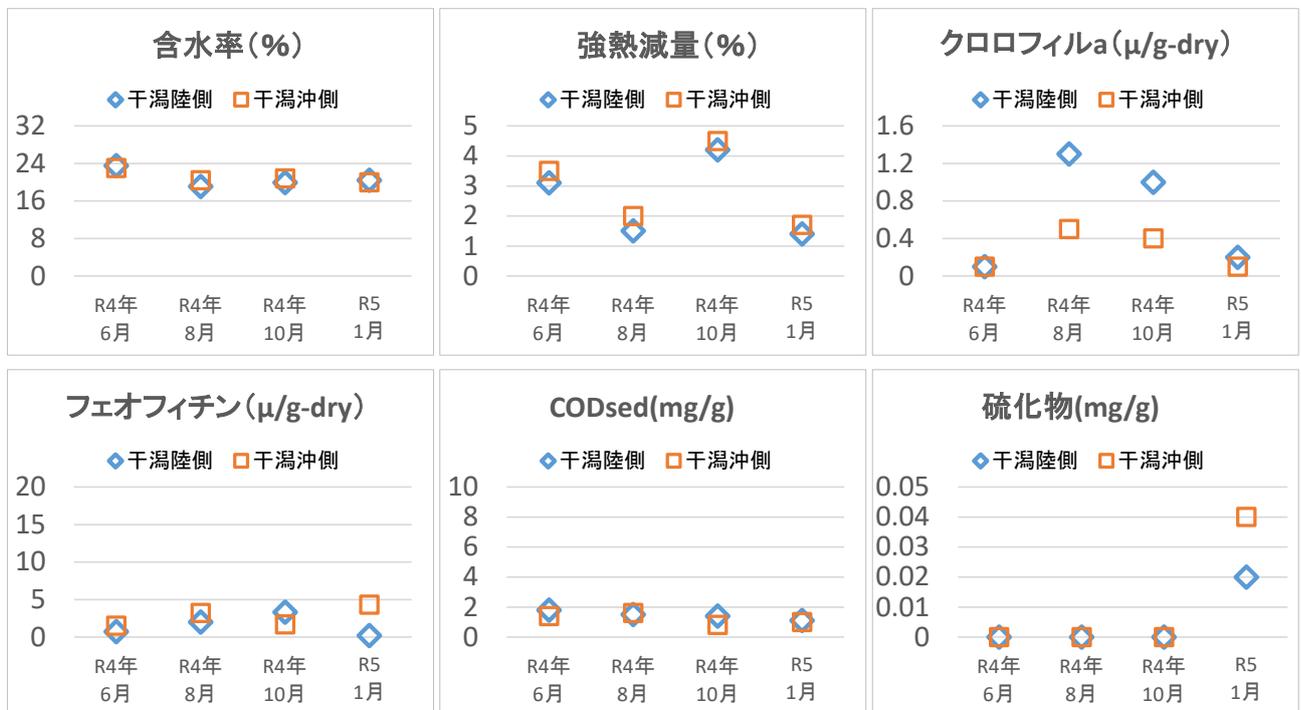


図 19 底質調査結果 (分析結果)

2.3.2 生物調査

(1) アサリ生息状況調査

アサリ（1mm以上）の生息状況調査の結果を図20に示す。干潟陸側では5月に約1,000個体/m²であったが翌年1月には約20個体/m²まで減少した。干潟沖側では5月に175個体/m²確認されたが、10月には0個体/m²まで減少した。令和4年度における1mm以上のアサリの生息密度は例年と比較して低く、特に春季における生息密度が低かった。

殻長組成の結果を図22に示す。干潟陸側では5～8月に殻長30mm程度のアサリが多く確認されたが、9月～翌年1月にかけて減少した。8月には、殻長10mm程度のアサリが確認されており、新規加入群と考えられる。例年、干潟陸側では春季（4月～6月頃）に殻長10mm以下のアサリが多く確認されるが、令和4年度は確認されなかった。

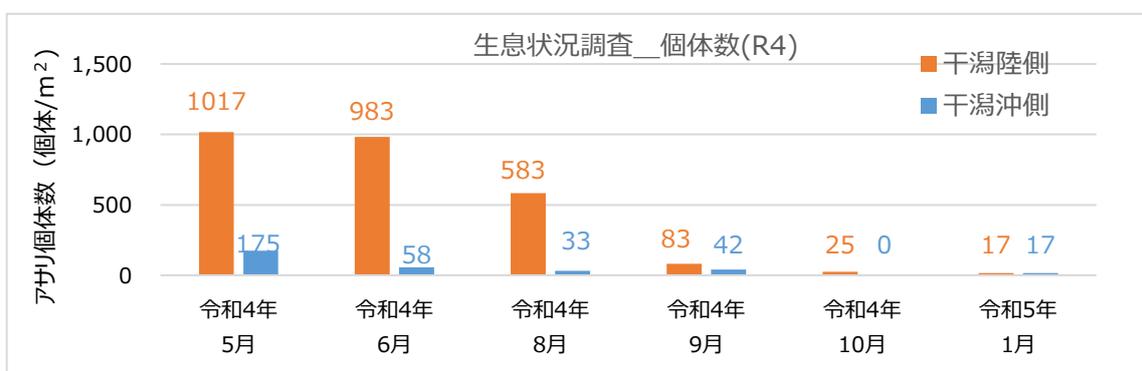
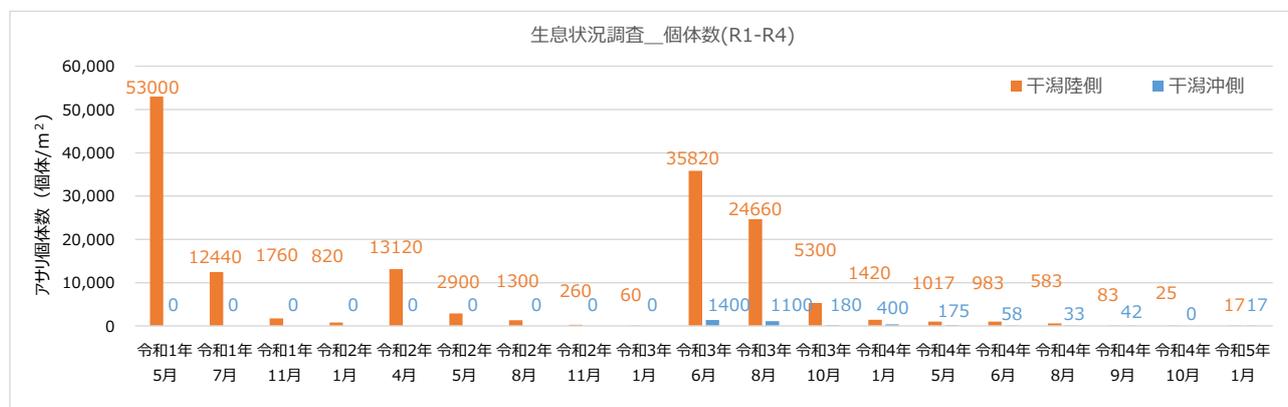


図20 アサリ生息状況調査結果（月別個体数）



参考図 アサリ生息状況調査（過年度からの月別個体数）

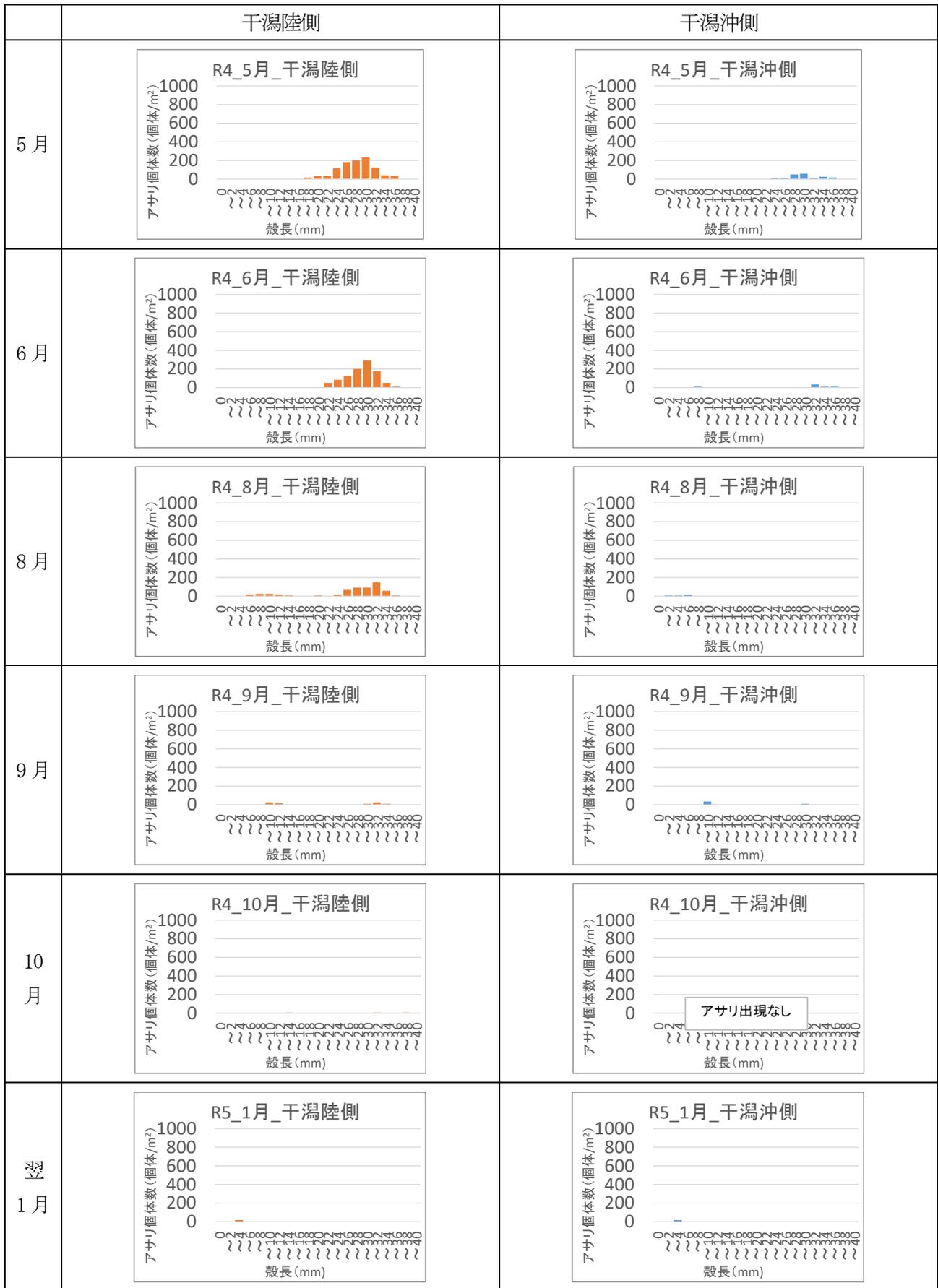


図 22 アサリ生息状況調査結果 (月別殻長組成)

干潟陸側

平成31年度（参考）		令和2年度（参考）		令和3年（参考）	
—	—	4月		—	—
5月		5月		6月	
7月		8月		8月	
11月		11月		10月	
1月		1月		1月	

参考図 過年度のアサリ生息状況調査結果（殻長組成:干潟陸側）

干潟沖側

平成31年度 (参考)		令和2年度 (参考)		令和3年 (参考)	
4月		4月	<p>R2_4月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 アサリ出現なし 殻長(mm)</p>	—	—
5月	<p>R1_5月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 アサリ出現なし 殻長(mm)</p>	5月	<p>R2_5月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 アサリ出現なし 殻長(mm)</p>	6月	<p>R3_6月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 殻長(mm)</p>
7月	<p>R1_7月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 アサリ出現なし 殻長(mm)</p>	8月	<p>R2_8月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 アサリ出現なし 殻長(mm)</p>	8月	<p>R3_8月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 殻長(mm)</p>
11月	<p>R1_11月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 アサリ出現なし 殻長(mm)</p>	11月	<p>R2_11月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 アサリ出現なし 殻長(mm)</p>	10月	<p>R3_10月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 殻長(mm)</p>
1月	<p>R2_1月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 アサリ出現なし 殻長(mm)</p>	1月	<p>R3_1月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 アサリ出現なし 殻長(mm)</p>	1月	<p>R4_1月_干潟沖側 アサリ個体数(個体/m²) 1000 800 600 400 200 0 殻長(mm)</p>

参考図 過年度のアサリ生息状況調査結果 (殻長組成:干潟沖側)

(2) アサリ初期稚貝調査

アサリの初期稚貝（殻長0.1～1mm）の調査結果を図22に示す。干潟陸側においては、12月に最も初期稚貝の個体数が多かった。干潟沖側においては5月に最も初期稚貝が多かった。過年度の調査結果と比較すると、令和4年度は干潟沖側において5月、12月、1月に例年よりやや多い初期稚貝が確認されたが、調査開始以来最も生息密度が高かった令和3年度と比較すると密度は低かった。

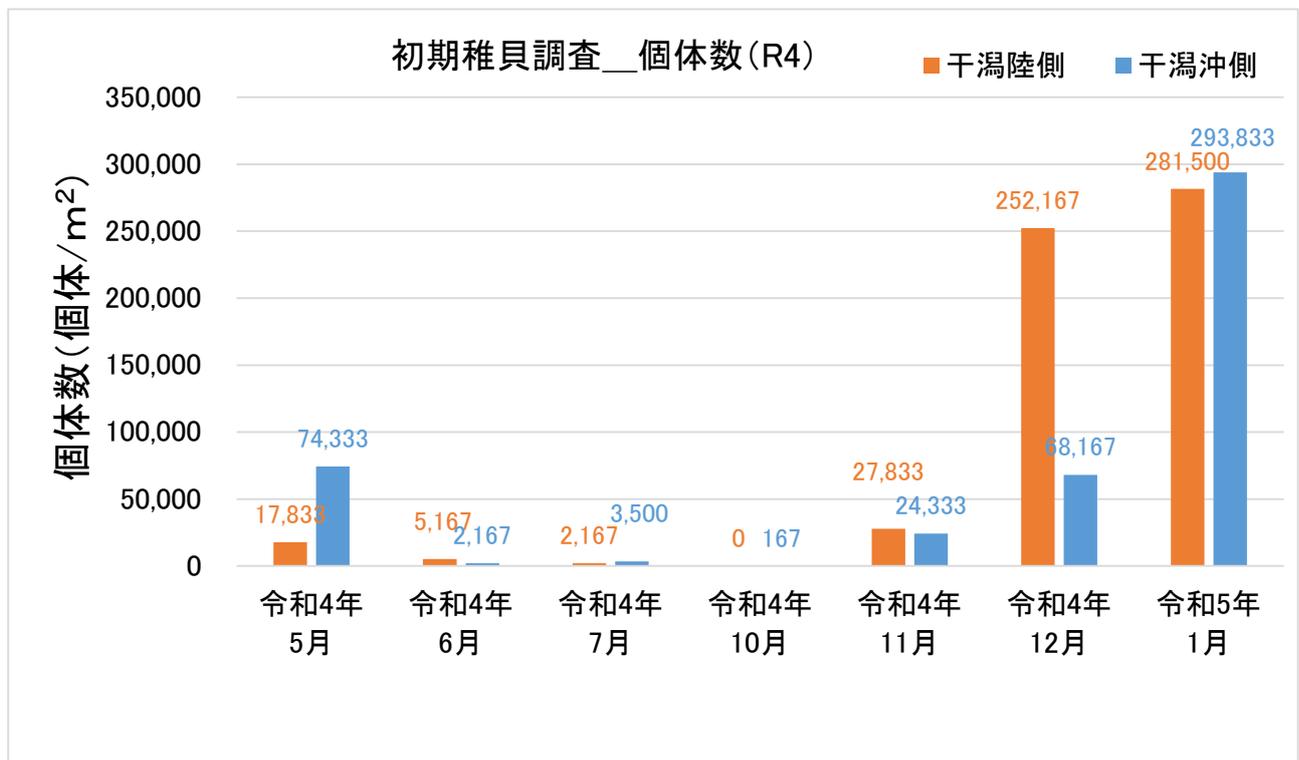
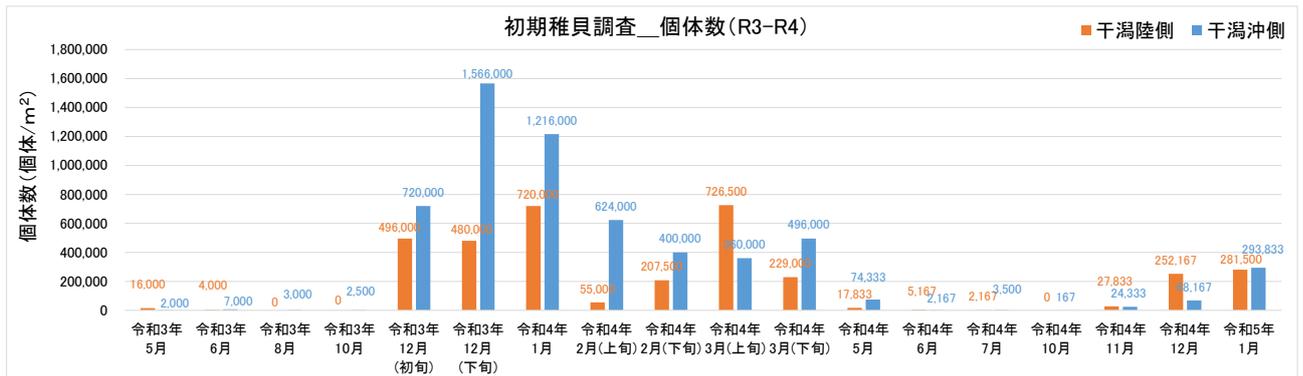
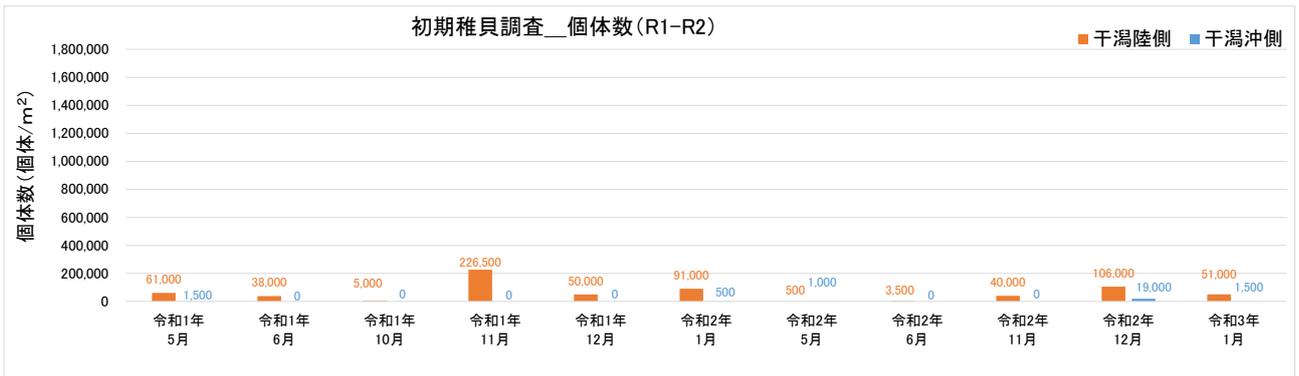


図22 初期稚貝調査結果（月別個体数）



参考図 初期稚員調査結果 (過年度からの月別個体数)

3. 採苗技術・保護育成技術・生産性向上のための移植技術の開発（小課題3-2-1）

3.1 方法

3.1.1 調査時期

＜令和2年度＞

令和2年9月 干潟陸側に設置

令和3年1月 モニタリング（干潟陸側）

＜令和3年度＞

令和3年4月 モニタリング（干潟陸側）

令和3年5月 干潟沖側へ移植

令和3年7月、9月、11月、令和4年1月 モニタリング（干潟沖側）

＜令和4年度＞

令和4年5月、6月、7月、8月 モニタリング（干潟沖側）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年1月	翌年2月	翌年3月
令和2年度	-	-	-	-	-	陸側設置				干潟モニタ①		
令和3年度	干潟モニタ②	沖側移植		沖側モニタ①		沖側モニタ②		沖側モニタ③		沖側モニタ④		
令和4年度		沖側モニタ⑤	沖側モニタ⑥	沖側モニタ⑦	沖側モニタ⑧							

3.1.2 調査場所・調査地点

熊本県玉名市岱明地先

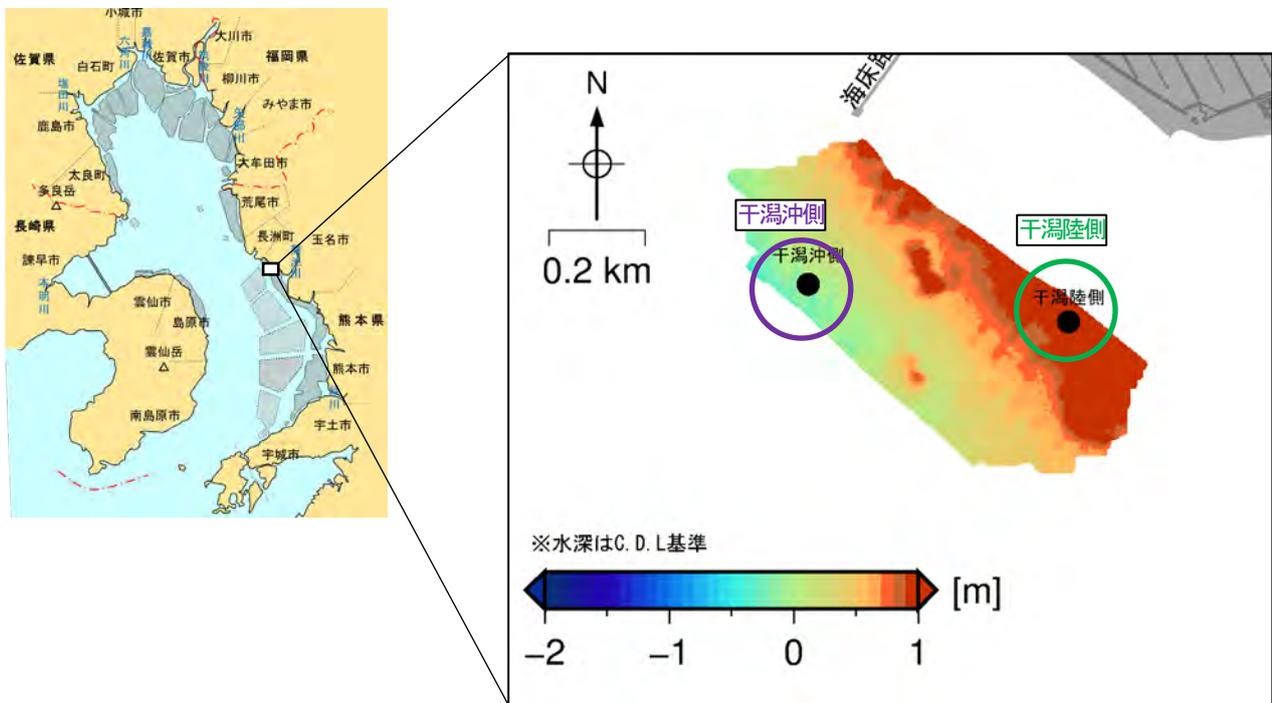


図 23 調査地点(再掲)